

徒然草 つれづれぐさ

清少納言 せいしょうなごん

秋は夕暮。夕日の差して山の
端いと近うなりたるに、からす
の寢所へ行くとして、三つ四つ、
二つ三つなど飛び急ぐさへあは
れなり。まいて雁などの連ねた
るが、いと小さく見ゆるは、い
とをかし。日入り果てて、風の
音、虫の音など、はた言ふべき
にあらず。

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。